



▲第1458号の「はんだ市報」

80年間 市政を市民のみなさんへ広報

半田市報が 1500号

【問合わせ】企画課 ☎84-0603

「はんだ市報」が、昭和14年9月10日に「半田市公報」として創刊されてから、この号で1500号になりました。第1号は、中笠半左衛門初代市長の時代に発刊され、第二次世界大戦中の昭和19年11月・12月、昭和20年4月から同年10月までの7か月間、紙不足などによって休刊しましたが、それ以外は発刊を続けています。

発刊以来、これまで紙面作りや配布にご協力いただきました多くのみなさんにお礼を申し上げます。

これからも、市民のみなさんに市の情報を分かりやすく伝え、親しまれる紙面作りに努力していきます。どうぞ、ご意見・ご要望をお寄せください。

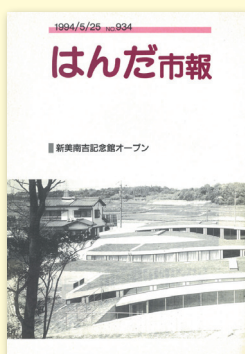


▲第1号の「半田市公報」

過去の紙面の紹介

はんだ市報は、この80年間でさまざまな紙面が作成されてきました。これまで発行してきた広報紙1500号の中から、話題となった出来事の紙面を4号選びました。記載の二次元バーコードから、それぞれの号を全ページ読むことができますので、ぜひ当時の時代を感じてみてください。

934号(平成6年5月25日号)では、新美南吉記念館オープンの記事が表紙でした。表紙も2色刷りになりました。ページ数も26ページあります。



241号(昭和35年8月25日号)では、当時の市役所新庁舎完成の記事が一面でした。文字がびっしり書かれています。ページ数は4ページでした。



1492号(令和元年6月15日号)は、半田市PR大使の平野泰新さんが表紙です。手に取ってもらえるよう写真を大きく掲載し、カラーとしています。



453号(昭和48年6月25日号)は、衣浦港海底トンネル開通の記事が載っています。ロゴのデザインが特徴的で、手書きの見出しや4コマ漫画も載っていました。

